

三三一二番

こもくりの 泊瀬小国に よばひせず 我が天皇  
 よ 奥床に 母は寝ねたり 外床に 父は寝ねた  
 り 起き立たば 母知りぬべし 出でて行かば  
 父知りぬべし ぬばたまの 夜は明け行きぬ こ  
 こたくも 思ふことならぬ 隠り妻かも

反歌

三三一一三番

川の瀬の 石踏み渡り ぬばたまの 黒馬の来夜  
 は 常にあらぬかも